

東京書籍「精選論理国語」(論国 002-902)

■「思考は風のように」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・筆者が考える哲学における「思考」とはどのようなことかを読み取り、説明している。 ・具体例を通して、筆者が考える「あたりまえ」とはどういうことかを理解し、説明している。 ・筆者の考える「思考」の意義について読み取り、説明している。	・筆者が考える哲学における「思考」とはどのようなことかを読み取っている。 ・具体例を通して、筆者が考える「あたりまえ」とはどういうことかを理解している。 ・筆者の考える「思考」の意義について読み取っている。	・筆者が考える哲学における「思考」とはどのようなことかを読み取っていない。 ・具体例を通して、筆者が考える「あたりまえ」とはどういうことかを理解していない。 ・筆者の考える「思考」の意義について読み取っていない。
	④筆者の意図の解釈 読(1) エ	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図について推測し、その表現の効果について、理解し説明している。	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図について推測し、その表現の効果について、理解している。	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図について推測せず、その表現の効果について、理解していない。
	⑤情報の収集 書(1) ア	・「違和感」について、自分の考えを文章にまとめるために、本文や別の文章から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「違和感」について、自分の考えを文章にまとめるために、本文や別の文章から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「違和感」について、自分の考えを文章にまとめるために、本文や別の文章から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいる。
	⑥表現の検討 書(1) オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。

主体的に 学習に取り 組む態度	⑦学習への態度	哲学における「思考」の意義についての筆者の考えを踏まえたうえで、視野を広げ、「思考」の在り方についての自分の考えを深め、説明しようとしている。	哲学における「思考」の意義についての筆者の考えを踏まえたうえで、視野を広げ、「思考」の在り方についての自分の考えを深めようとしている。	哲学における「思考」の意義についての筆者の考えを踏まえず、視野を広げ、「思考」の在り方についての自分の考えを深めようとしていない。
-----------------------	---------	---	---	---

■「【論理の力】質問する力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2) ア	・ 論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解し、観点を押さえた適切な質問を考えている。	・ 論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解し、質問を考えている。	・ 論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解しておらず、質問を考えていない。
	②推論の理解 (2) ウ	・ 三つの観点の質問を念頭に置いて、論理的文章を検証し、その文章の内容に応じた適切な質問を考えている。	・ 三つの観点の質問を念頭に置いて、論理的文章を検証し、質問を考えている。	・ 三つの観点の質問を念頭に置かず、漠然と論理的文章を検証し、質問を考えていない。
思考・判断・表現	③多角的な観点の理解 読(1) エ	・ 取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考え、それ以外の観点もあることを理解して読んでいる。	・ 取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考えながら読んでいる。	・ 取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考えながら読んでいない。
	④考えの形成 読(1) カ	・ 取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよしあしとの関連を考えながら読み、的確でよりよい質問の内容を意識して、自分の考えを深めている。	・ 取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよしあしとの関連を考えながら読み、質問する内容について自分の考えを深めている。	・ 取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよしあしとの関連を考えながら読んでおらず、質問する力について自分の考えを深めていない。
学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・ 論理的文章におけるよりよい質問とは何かを理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・ 論理的文章におけるよい質問とは何かを理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・ 論理的文章におけるよい質問とは何かを理解せず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■「ミロのヴィーナス」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・「譲歩」を用いた表現や、具体と抽象の関係、疑問を含む表現などを理解し、それらの重要性について説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・「譲歩」を用いた表現や、具体と抽象の関係、疑問を含む表現などを理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・「譲歩」を用いた表現や、具体と抽象の関係、疑問を含む表現などを理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「特殊」「普遍」「逆接」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「特殊」「普遍」「逆接」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「特殊」「普遍」「逆接」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④展開の把握 読(1) ア	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示している。	・各意味段落の内容を踏まえた適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「ミロのヴィーナス」という具体物と、芸術における美という普遍性の関係を読み取って、説明している。 ・ミロのヴィーナスの復元案に対する筆者の主張を読み取って、説明している。 ・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解し、説明している。	・「ミロのヴィーナス」という具体物と、芸術における美という普遍性の関係を読み取っている。 ・ミロのヴィーナスの復元案に対する筆者の主張を読み取っている。 ・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解している。	・「ミロのヴィーナス」という具体物と、芸術における美という普遍性の関係を読み取っていない。 ・ミロのヴィーナスの復元案に対する筆者の主張を読み取っていない。 ・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解していない。

	⑥筆者の意図の 解釈 読(1)エ	・復元案を取り上げた筆者の意図を理解し、筆者の伝えたいことを捉えて、説明している。 ・抽象的語句や逆説的、比喩的表現を整理し、それらがもたらす効果について理解し、説明している。 ・「もちろん…。しかし…」などの「譲歩」を用いた表現の効果について理解し、説明している。 ・倒置の技法を用いる筆者の意図と、その表現効果を理解し、説明している。 ・傍点や「——」（ダッシュ）の付された意味を考え、説明している。	・復元案を取り上げた筆者の意図を理解し、筆者の伝えたいことを捉えている。 ・抽象的語句や逆説的、比喩的表現を整理し、それらがもたらす効果について理解している。 ・「もちろん…。しかし…」などの「譲歩」を用いた表現の効果について理解している。 ・倒置の技法を用いる筆者の意図と、その表現効果を理解している。 ・傍点や「——」（ダッシュ）の付された意味を考えている。	・復元案を取り上げた筆者の意図を理解しておらず、筆者の伝えたいことを捉えていない。 ・抽象的語句や逆説的、比喩的表現を整理していないか、整理だけにとどまり、それらがもたらす効果について理解していない。 ・「もちろん…。しかし…」などの「譲歩」を用いた表現の効果について理解していない。 ・倒置の技法を用いる筆者の意図と、その表現効果を理解していない。 ・傍点や「——」（ダッシュ）の付された意味を考えていない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑦学習への態度	・本文の理解を踏まえたうえで、「芸術」についての見方を深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえたうえで、「芸術」についての見方を深めようとしている。	・本文の理解を踏まえたうえで、「芸術」についての見方を深めようとしていない。

■「【論理の力】つなげる力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文章の構成 〔1〕ウ	・文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解し、適切な接続表現を用いている。	・文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解している。	・文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解していない。
	②接続関係の理解 〔2〕ア	・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解し、使われている接続表現を適切に捉えている。	・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解している。	・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して内容を的確に捉え、接続関係の適切さを評価しながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して内容を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意せず、内容を的確に捉えていない。
	④論理の展開の把握 読〔1〕エ	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して論理の展開を的確に捉え、接続関係の適切さを評価しながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して論理の展開を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意せず、論理の展開を的確に捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解せず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■「【論理の力】論理とは何か」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①推論の理解 (2)ウ	・前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解し、論理的文章における展開の方法とつなげて捉えている。	・前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解している。	・前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解していない。
	②情報の整理と理解 (2)アイ	・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解し、筋道だった文章における情報の関係性を的確に捉えている。	・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解し、筋道だった文章における情報の関係性を捉えている。	・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解しておらず、筋道だった文章における情報の関係性を捉えていない。
思考・判断・表現	③妥当性の吟味 読(1)ウ	・取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにして、文章の内容を批判的に捉え、論点を明確にしながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにして、文章の内容を批判的に捉えている。	・取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにせず、文章の内容を批判的に捉えていない。
	④論理の展開の把握 読(1)エ	・取り上げられた問題について、多面的な視点で読み、論理の展開を批判的に捉え、論点を明確にしている。	・取り上げられた問題について、多面的な視点で読み、論理の展開を批判的に捉えている。	・取り上げられた問題について、多面的な視点で読まず、論理の展開を批判的に捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解せず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■「料理は芸術といえるのか」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握し、説明している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘していないか、指摘しても文章の構成について把握していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	「芸術」と「時間」の関係について、本文中の対比的な具体例を整理して指摘し、説明している。	「芸術」と「時間」の関係について、本文中の対比的な具体例を整理して指摘している。	「芸術」と「時間」の関係について、本文中の対比的な具体例を整理して指摘していない。
	④内容把握 読(1) ア	- 料理を芸術と見なしてこなかった理由を読み取り、説明している。 - 料理について、レシピの有無によって芸術であるか否かが決まるという基準が機能しないと筆者が考える理由を読み取り、説明している。 - 料理を取り入れた現代アートに対する筆者の考えを読み取り、説明している。 - 芸術と日常の境界が流動的なものについて、具体例を考え、説明している。	- 料理を芸術と見なしてこなかった理由を読み取っている。 - 料理について、レシピの有無によって芸術であるか否かが決まるという基準が機能しないと筆者が考える理由を読み取っている。 - 料理を取り入れた現代アートに対する筆者の考えを読み取っている。 - 芸術と日常の境界が流動的なものについて、具体例を考えている。	- 料理を芸術と見なしてこなかった理由を読み取っていない。 - 料理について、レシピの有無によって芸術であるか否かが決まるという基準が機能しないと筆者が考える理由を読み取っていない。 - 料理を取り入れた現代アートに対する筆者の考えを読み取っていない。 - 芸術と日常の境界が流動的なものについて、具体例を考えていない。

	⑤根拠の検討 読（１）ウ	・時間を超えて存在するものを芸術作品とする主張に対する、筆者の反論の根拠を指摘し、説明している。	・時間を超えて存在するものを芸術作品とする主張に対する、筆者の反論の根拠を指摘している。	・時間を超えて存在するものを芸術作品とする主張に対する、筆者の反論の根拠を指摘していない。
	⑥妥当性の吟味 読（１）ウ	・「芸術」の定義について、筆者の論証を検討したうえで、自分の意見をまとめ、的確に説明している。	・「芸術」の定義について、筆者の論証を検討したうえで、自分の意見をまとめている。	・「芸術」の定義について、筆者の論証を検討せず、自分の意見をまとめていない。
	⑦考えの形成 読（１）カ	・筆者の主張する「芸術」の定義について、自分の既存の知識や経験、話し合いで得られた他者の意見などを関連づけながら、自身の考えを深めてまとめ、説明している。	・筆者の主張する「芸術」の定義について、自分の既存の知識や経験、話し合いで得られた他者の意見などを関連づけながら、自身の考えを深め、まとめている。	・筆者の主張する「芸術」の定義について、自分の既存の知識や経験、話し合いで得られた他者の意見などを関連づけながら、自身の考えを深め、まとめていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・「芸術」の定義についての筆者の論の進め方を捉え、芸術の在り方について自分の考えを深め、説明しようとしている。	・「芸術」の定義についての筆者の論の進め方を捉え、芸術の在り方について自分の考えを深めようとしている。	・「芸術」の定義についての筆者の論の進め方を捉え、芸術の在り方について自分の考えを深めようとしていない。

■「【論理の力】論証する力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①反論の理解 (2)ア	・示された主張に対し、異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論について理解し、論証を検討する筋道を適切に捉えている。	・示された主張に対し、異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論について理解している。	・示された主張に対し、異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論について理解していない。
	②推論の理解 (2)ウ	・推論の適切さを「根拠」と「導出」に基づいて確かめる重要性を理解し、論証の説得力を判断する方法を適切に捉えている。	・推論の適切さを「根拠」と「導出」に基づいて確かめる重要性を理解している。	・推論の適切さを「根拠」と「導出」に基づいて確かめる重要性を理解していない。
思考・判断・表現	③妥当性の吟味 読(1)ウ	・取り上げられた問題について、「根拠」と「導出」の違いを的確に捉え、論証の適切さを判断しながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、「根拠」と「導出」の違いを的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、「根拠」と「導出」の違いを的確に捉えていない。
	④考えの形成 読(1)カ	・示された論証を検討、判断して、新たな観点から自分の考えを深めている。	・示された論証を検討、判断して、自分の考えを深めている。	・示された論証を検討、判断して、自分の考えを深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・論証の説得力を持つための「根拠」と「導出」の違いと関連性を理解したうえで論証し、自分の主張の説得力を検討、判断しようとしている。	・論証の説得力を持つための「根拠」と「導出」の違いと関連性を理解したうえで、論証しようとしている。	・論証の説得力を持つための「根拠」と「導出」の違いと関連性を理解しておらず、論証しようとしていない。

■「科学的『発見』とは」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 - 事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	- 文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解している。 - 事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	- 文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解していない。 - 事例・根拠と主張の関係を確認しながら読み取らず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	「主体」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④構成の把握 読(1) イ	- 各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 - 段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取り、端的に説明している。	- 各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 - 段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取っている。	- 各意味段落の内容を踏まえた適切な小見出しをつけていない。 - 段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取っていない。
	⑤内容と構成 読(1) イ	「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを読み取り、自身の経験も踏まえて、根拠を示しながら説明している。 「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取り、説明している。	「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを、自身の経験も踏まえながら読み取っている。 「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取っている。	「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを自身の経験も踏まえず読み取っていない。 「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取り、説明している。 ・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解し、説明している。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取っている。 ・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解している。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取っていない。 ・文章と資料を関連づけず、筆者の主張を理解していない。
	⑥考えの形成 読（１）カ	・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけながら、「科学的視点」についての自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけながら、「科学的視点」についての自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけず、「科学的視点」についての自分の考えを深めていない。
	⑦表現の特徴の理解 読（１）イ	・二つの課題を迫体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかみ、説明している。 ・筆者の主張を説明するための図や画像を探し、適切に活用して説明している。 ・「…ではなく…」という対比的な否定表現と、それがもたらす表現効果について理解し、説明している。	・二つの課題を迫体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかんでいる。 ・筆者の主張を説明するための図や画像を探し、説明している。 ・「…ではなく…」という対比的な否定表現と、それがもたらす表現効果について理解している。	・二つの課題を迫体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取っておらず、資料が主張に果たす役割をつかんでいない。 ・筆者の主張を説明するための図や画像を探していない。 ・「…ではなく…」という対比的な否定表現と、それがもたらす表現効果について理解していない。
	⑧学習への態度	・本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直し、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直し、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直さず、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深めようとしていない。

■「【論理の力】要約する力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2) ア	・文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解し、主張と根拠、具体例などの関係を適切に捉えている。	・文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解している。	・文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解していない。
	②情報の整理 (2) イ	・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解し、それぞれの関係性を適切に捉えている。	・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解している。	・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・取り上げられた問題について、問いと答えの構造に注目して中心的主張を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、中心的主張を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、中心的主張を的確に捉えていない。
	④論理の展開の把握 読(1) エ	・取り上げられた問題について、問いと答えの構造に注目して論理の展開を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、論理の展開を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、論理の展開を的確に捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・論理的文章の構造と要約の関連性を理解し、他の文章についても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・論理的文章の構造と要約の関連性を理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・論理的文章の構造と要約の関連性を理解しておらず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■「【言葉のトレーニング】『ヘビににらまれたカエル』の生き残り戦略」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文章の構成と展開 (1) ウエ	・研究の背景→目的→検証方法→結果→考察という本文の論の構成を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・研究の背景→目的→検証方法→結果→考察という本文の論の構成を理解している。	・研究の背景→目的→検証方法→結果→考察という本文の論の構成を理解していない。
	②情報の理解 (2) ア	・一般的な前提を示したうえで、実験結果の考察を論述する方法とその効果を理解し、説明している。	・一般的な前提を示したうえで、実験結果の考察を論述する方法とその効果を理解している。	・一般的な前提を示したうえで、実験結果の考察を論述する方法とその効果を理解していない。
	③推論の理解 (2) ウ	・個々の実験結果を積み上げ、考察によって法則を導く推論の仕方を理解し、説明している。	・個々の実験結果を積み上げ、考察によって法則を導く推論の仕方を理解している。	・個々の実験結果を積み上げ、考察によって法則を導く推論の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・五つの段の各内容を要約して、論題と結論を理解し、説明している。 ・捕食回避のために静止行動をとる「ヘビににらまれたカエル」が不利にならない理由をまとめ、説明している。	・五つの段の各内容を要約して、論題と結論を理解している。 ・捕食回避のために静止行動をとる「ヘビににらまれたカエル」が不利にならない理由をまとめている。	・五つの段の各内容を要約しておらず、論題と結論を理解していない。 ・捕食回避のために静止行動をとる「ヘビににらまれたカエル」が不利にならない理由をまとめていない。
	⑤内容と構成 読(1) イ	・「…明らかになりました」などの実験結果の考察を示す表現や、「…示唆されました」などの推論を示す表現を理解し、主張の筋道を捉え、説明している。 ・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解し、説明している。	・「…明らかになりました」などの実験結果の考察を示す表現や、「…示唆されました」などの推論を示す表現を理解し、主張の筋道を捉えている。 ・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解している。	・「…明らかになりました」などの実験結果の考察を示す表現や、「…示唆されました」などの推論を示す表現を理解しておらず、主張の筋道を捉えていない。 ・文章と資料を相互に関連づけておらず、筆者の主張を理解していない。
学習に取り組む主体的な態度	⑥学習への態度	・論拠となる実験結果や資料を示す効果を理解し、論理的文章における説得力についての考えを深め、説明しようとしている。	・論拠となる実験結果や資料を示す効果を理解し、論理的文章における説得力についての考えを深めようとしている。	・論拠となる実験結果や資料を示す効果を理解しておらず、論理的文章における説得力についての考えを深めようとしていない。

■「【探究編】仮説を立てて検証する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①論の形式 (1)エ	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解し、その特徴を説明している。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解している。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解していない。
	②情報の理解 (2)ア	・複数の資料を比較して共通点・相違点を整理し、関連づける要素を分析して、仮説を立証する根拠となる情報を検討し、説明している。	・複数の資料を比較して共通点・相違点を整理し、関連づける要素を分析して、仮説を立証する根拠となる情報を検討している。	・複数の資料を比較して共通点・相違点を整理していないか、整理だけにとどまり、仮説を立証する根拠となる情報を検討していない。
	③推論の理解 (2)ウ	・把握した実態が起きる原因や理由を推測して、仮説を立てる推論の仕方を理解し、説明している。	・把握した実態が起きる原因や理由を推測して、仮説を立てる推論の仕方を理解している。	・把握した実態が起きる原因や理由を推測して、仮説を立てる推論の仕方を理解していない。
	④読書の意義 (3)ア	・新たな考えや思考力・認識を生むための読書の意義と効用について理解し、説明している。	・新たな考えや思考力・認識を生むための読書の意義と効用について理解している。	・新たな考えや思考力・認識を生むための読書の意義と効用について理解していない。
思考・判断・表現	⑤情報の収集 書(1)ア	・収集した情報について観点に沿って整理・関係づけし、仮説の検証に必要な内容を立証の情報として適切に取捨選択している。	・収集した情報について観点に沿って整理・関係づけし、仮説の検証に必要な内容を取捨選択している。	・収集した情報について観点に沿って整理・関係づけしていないか、したにとどまり、仮説の検証に必要な内容を取捨選択していない。
	⑥根拠の検討 書(1)エ	・多面的・多角的視点から自分の仮説の妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・多面的・多角的視点から自分の仮説の妥当性を見直し、その適否について検討している。	・多面的・多角的視点から自分の仮説の妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑦表現の検討 書(1)オ	・仮説検証の過程の報告文として、的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・仮説検証の過程の報告文として、的確な文章であるかを検討・吟味している。	・仮説検証の過程の報告文として、的確な文章であるかを検討・吟味していない。

主体的に 学習に取り 組む態度	⑧学習への態度	・ 日常や社会で見られる現象を把握し、問題意識をもってその原因や理由を考えて仮説を立て、情報を集めて検証する過程を学ぼうとし、的確な報告文にまとめようとしている。	・ 日常や社会で見られる現象を把握し、その原因や理由を考えて仮説を立て、情報を集めて検証する過程を学ぼうとし、報告文にまとめようとしている。	・ 日常や社会で見られる現象を把握し、その原因や理由を考えて仮説を立て、情報を集めて検証する過程を学ぼうとしていないか、報告文にまとめようとしていない。
--------------------------------	----------------	--	---	---

■「分人とは何か」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や対比、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・問題提起とその答え、具体例と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や対比、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 ・問題提起とその答え、具体例と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や対比、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 ・問題提起とその答え、具体例と主張の関係を読み取することをせず、筆者の主張を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・筆者が独自に定義した「分人」という概念を、「個人」との違いや具体例をもとに読み取り、説明している。	・筆者が独自に定義した「分人」という概念を、「個人」との違いや具体例をもとに読み取っている。	・筆者が独自に定義した「分人」という概念を、「個人」との違いや具体例をもとに読み取っていない。
	④構成の把握 読(1) ア	・五つの段のそれぞれの部分で取り上げられていることを整理して、全体の構成を理解し、説明している。	・五つの段のそれぞれの部分で取り上げられていることを整理して、全体の構成を理解している。	・五つの段のそれぞれの部分で取り上げられていることを整理していないか、整理だけにとどまり、全体の構成を理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「個人」という概念と、「本当の自分」との関連性を読み取り、説明している。 ・「分人」のネットワークには中心が存在しない理由を、「本当の自分」が「キャラ」を演じるという一般的な考えと対比して捉え、説明している。	・「個人」という概念と、「本当の自分」との関連性を読み取っている。 ・「分人」のネットワークには中心が存在しない理由を、「本当の自分」が「キャラ」を演じるという一般的な考えと対比して捉えている。	・「個人」という概念と、「本当の自分」との関連性を読み取っていない。 ・「分人」のネットワークには中心が存在しない理由を、「本当の自分」が「キャラ」を演じるという一般的な考えと対比して捉えていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「分人の数」や「分人のサイズ」の変化と人間関係の関連性を読み取り、「分人」の特徴をまとめ、説明している。	・「分人の数」や「分人のサイズ」の変化と人間関係の関連性を読み取り、「分人」の特徴をまとめている。	・「分人の数」や「分人のサイズ」の変化と人間関係の関連性を読み取っておらず、「分人」の特徴をまとめていない。
	⑥内容の解釈 読（１）オ	・文章中に「私たち」を多用する筆者の意図を読み取り、説明している。 ・「キャラ」を演じることにに対する筆者の主張を、同テーマの他の文章（「メディアの変容」）と比較して、考え方の違いを理解し、的確に説明している。	・文章中に「私たち」を多用する筆者の意図を読み取っている。 ・「キャラ」を演じることにに対する筆者の主張を、同テーマの他の文章（「メディアの変容」）と比較して、考え方の違いを理解している。	・文章中に「私たち」を多用する筆者の意図を読み取っていない。 ・「キャラ」を演じることにに対する筆者の主張を、同テーマの他の文章（「メディアの変容」）と比較しておらず、考え方の違いを理解していない。
	⑦情報検討と考察 読（１）キ	・筆者の主張と、同テーマの他の文章の視点の違いを考察して、人間関係における「私という存在」について自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、同テーマの他の文章の視点の違いを考察して、人間関係における「私という存在」について自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、同テーマの他の文章の視点の違いを考察せず、人間関係における「私という存在」について自分の考えを深めていない。
	⑧情報の収集 書（１）ア	・筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえて自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から情報を収集・整理していないか、整理だけにとどまり、根拠となる題材を選んでいる。
	⑨構成の検討 書（１）ウ	・筆者の主張についての自分の考えを明確に伝えるために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、根拠を説明している。	・筆者の主張についての自分の考えを明確に伝えるために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	・筆者の主張についての自分の考えを明確に伝えるために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫していない。
	⑩共有・吟味 書（１）カ	・他者との意見交換や批評を踏まえて、自分の文章の特長や課題を書き手と読み手の双方の立場から客観的に吟味し、的確に捉え直している。	・他者との意見交換や批評を踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。	・他者との意見交換や批評を踏まえず、自分の文章の特長や課題を捉え直していない。
	⑪学習への態度	・人間関係に対する考え方を、「分人」という筆者の観点から捉え直し、自分と身近な人間関係について考えを深め、説明しようとしている。	・人間関係に対する考え方を、「分人」という筆者の観点から捉え直し、自分と身近な人間関係について考えを深めようとしている。	・人間関係に対する考え方を、「分人」という筆者の観点から捉え直さず、自分と身近な人間関係について考えを深めようとしていない。

■「メディアの変容」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・現代社会の分析結果と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・現代社会の分析結果と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・現代社会の分析結果と筆者の主張の関係を読み取っておらず、筆者の主張を理解していない。
	③評論 キーワード (1) イ	・「近代」「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「近代」「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「近代」「メディア」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・社会の「価値意識」と「人間関係」の関連性について、そのつながりと変化を読み取り、説明している。	・社会の「価値意識」と「人間関係」の関連性について、そのつながりと変化を読み取っている。	・社会の「価値意識」と「人間関係」の関連性について、そのつながりと変化を読み取っていない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・分かりづらいつと感じたところを質問のかたちにしなつら、五つの段に適切な小見出しをつつ、その根拠を説明している。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。	・分かりづらいつと感じたところを質問のかたちにしなつら、五つの段に適切な小見出しをつつけている。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示している。	・分かりづらいつと感じたところを質問のかたちにしなつら、五つの段に適切な小見出しをつつけていない。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かつた時代と比較して読み取り、説明している。 ・人間関係の「ユートピア化」と「ディストピア化」について、人間関係の自由化と価値意識の多元化に関連させて読み取り、説明している。	・近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かつた時代と比較して読み取っている。 ・人間関係の「ユートピア化」と「ディストピア化」について、人間関係の自由化と価値意識の多元化に関連させて読み取っている。	・近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かつた時代と比較して読み取っていない。 ・人間関係の「ユートピア化」と「ディストピア化」について、人間関係の自由化と価値意識の多元化に関連させて読み取っていない。

主体的に学習に 取り組む態度		・価値意識の多元化社会において「キャラ」を演じる理由を読み取り、説明している。 ・予定調和を重んじる人間関係の落とし穴とは何かを読み取り、リアルな人間関係の重要性を理解し、説明している。	・価値意識の多元化社会において「キャラ」を演じる理由を読み取っている。 ・予定調和を重んじる人間関係の落とし穴とは何かを読み取り、リアルな人間関係の重要性を理解している。	・価値意識の多元化社会において「キャラ」を演じる理由を読み取っていない。 ・予定調和を重んじる人間関係の落とし穴とは何かを読み取っておらず、リアルな人間関係の重要性を理解していない。
	⑦内容の解釈 読（１）オ	・「キャラ」という概念について、「分人とは何か」と比較して検討し、筆者の立場や考え方の違いをまとめ、説明している。	・「キャラ」という概念について、「分人とは何か」と比較して検討し、筆者の立場や考え方の違いをまとめている。	・「キャラ」という概念について、「分人とは何か」と比較して検討しておらず、筆者の立場や考え方の違いをまとめていない。
	⑧情報検討と考察 読（１）キ	・筆者の主張と、「分人とは何か」を比較して共通点・相違点を整理・分析し、現代の人間関係について、自分の考えを深め、説明している。	・筆者の主張と、「分人とは何か」を比較して共通点・相違点を整理・分析し、現代の人間関係について、自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、「分人とは何か」を比較して共通点・相違点を整理・分析しておらず、現代の人間関係について、自分の考えを深めていない。
	⑨情報の収集 書（１）ア	・本文と「分人とは何か」を比較し、「内容」「構成」「表現」の観点から共通点と相違点を整理して、自分が論ずるテーマについて論点を明確にし、情報を適切に収集・選択している。	・本文と「分人とは何か」を比較し、「内容」「構成」「表現」の観点から共通点と相違点を整理して、自分が論ずるテーマについて情報を収集している。	・本文と「分人とは何か」を比較せず、「内容」「構成」「表現」の観点から共通点と相違点を整理しておらず、自分が論ずるテーマについて情報を収集していない。
	⑩構成の検討 書（１）ウ	・筆者の意見についての自分の考えを明確に伝えるために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、根拠を説明している。	・筆者の意見についての自分の考えを明確に伝えるために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	・筆者の意見についての自分の考えを明確に伝えるために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫していない。
	⑪共有・吟味 書（１）カ	・他者との意見交換や批評を踏まえて、自分の文章の特長や課題を書き手と読み手の双方の立場から客観的に吟味し、的確に捉え直している。	・他者との意見交換や批評を踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。	・他者との意見交換や批評を踏まえず、自分の文章の特長や課題を捉え直していない。
	⑫学習への態度	・二つの文章の主張を踏まえ、現代の人間関係の在り方について、自分の知識や経験と関連づけながら考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。	・二つの文章の主張を踏まえ、現代の人間関係の在り方について、自分の知識や経験と関連づけながら考えをまとめ、説明しようとしている。	・二つの文章の主張を踏まえ、現代の人間関係の在り方について、自分の知識や経験と関連づけながら考えをまとめ、説明しようとしていない。

■「もどかしいまを口にする」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握し、説明している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘していないか、指摘していても文章の構成について把握していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	- 論理的といわれる話し方をしたときに、どのようなことが起こると筆者が考えているかを読み取り、説明している。 - 本筋から離れた内容だと捉えられそうな内容が持つ意味について、筆者の考え方を読み取り、説明している。 「ある」「ない」で分けられるような整然とした話し方についての筆者の主張を読み取り、説明している。 「論理的に整理して分かりやすくするべきだ」という主張に対して、筆者の考えを踏まえながら反論をまとめ、根拠をもって説明している。	- 論理的といわれる話し方をしたときに、どのようなことが起こると筆者が考えているかを読み取っている。 - 本筋から離れた内容だと捉えられそうな内容が持つ意味について、筆者の考え方を読み取っている。 「ある」「ない」で分けられるような整然とした話し方についての筆者の主張を読み取っている。 「論理的に整理して分かりやすくするべきだ」という主張に対して、筆者の考えを踏まえながら反論をまとめている。	- 論理的といわれる話し方をしたときに、どのようなことが起こると筆者が考えているかを読み取っていない。 - 本筋から離れた内容だと捉えられそうな内容が持つ意味について、筆者の考え方を読み取っていない。 「ある」「ない」で分けられるような整然とした話し方についての筆者の主張を読み取っていない。 「論理的に整理して分かりやすくするべきだ」という主張に対して、筆者の考えを踏まえながら反論をまとめている。

	④筆者の意図の解釈 読（１）エ	・ 筆者が主張を展開するにあたり、比喻表現や具体例を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解し、根拠とともに説明している。	・ 筆者が主張を展開するにあたり、比喻表現や具体例を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解している。	・ 筆者が主張を展開するにあたり、比喻表現や具体例を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解していない。
	⑤考えの形成 読（１）カ	・ 筆者の主張を踏まえて、「論理的な話し方」が望ましい場合と、「もどかしさに縁取られた語り」が望ましい場合について考えを深め、根拠をもって説明している。 ・ 筆者の立場を理解し、筆者が山口さんにしたと考えられる質問を作り、根拠をもって説明している。	・ 筆者の主張を踏まえて、「論理的な話し方」が望ましい場合と、「もどかしさに縁取られた語り」が望ましい場合について考えを深めている。 ・ 筆者の立場を理解し、筆者が山口さんにしたと考えられる質問を作っている。	・ 筆者の主張を踏まえて、「論理的な話し方」が望ましい場合と、「もどかしさに縁取られた語り」が望ましい場合について考えを深めていない。 ・ 筆者の立場を理解し、筆者が山口さんにしたと考えられる質問を作っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥学習への態度	・ 比喻や具体例を整理して筆者の主張を読み取り、論理的に話すこととそうでないことの違いを理解し、体験を語ることについての自分の考えを深め、説明しようとしている。	・ 比喻や具体例を整理して筆者の主張を読み取り、論理的に話すこととそうでないことの違いを理解し、体験を語ることについての自分の考えを深めようとしている。	・ 比喻や具体例を整理して筆者の主張を読み取り、論理的に話すこととそうでないことの違いを理解していないか、理解していても体験を語ることについての自分の考えを深めようとしていない。

■「科学の営み、文学の営み」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
	③読書の意義 (3) ア	・文学的文章を読み、筆者の主張と自分の考えを比較・検討することで、読書の意義について理解を深め、説明している。	・文学的文章を読み、筆者の主張と自分の考えを比較・検討することで、読書の意義について理解している。	・文学的文章を読むが、筆者の主張と自分の考えを比較・検討せず、読書の意義について理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・「科学」と「文学」の違いについて、本文中にある対比的表現を整理して指摘し、説明している。	・「科学」と「文学」の違いについて、本文中にある対比的表現を整理して指摘している。	・「科学」と「文学」の違いについて、本文中にある対比的表現を整理して指摘していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「科学的に世界を捉えようとする傾向は全ての人間に備わったもの」といえる理由を読み取り、説明している。 ・自分の経験から、より広い法則性を導こうとする精神の働きの現れについての筆者の考えを読み取り、説明している。 ・筆者が主張する、文学作品を読むときと科学の論文を読むときの類似点について読み取り、説明している。 ・「文学作品が与えてくれる『発見』」と筆者が考えているものを読み取り、説明している。	・「科学的に世界を捉えようとする傾向は全ての人間に備わったもの」といえる理由を読み取っている。 ・自分の経験から、より広い法則性を導こうとする精神の働きの現れについての筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が主張する、文学作品を読むときと科学の論文を読むときの類似点について読み取っている。 ・「文学作品が与えてくれる『発見』」と筆者が考えているものを読み取っている。	・「科学的に世界を捉えようとする傾向は全ての人間に備わったもの」といえる理由を読み取っていない。 ・自分の経験から、より広い法則性を導こうとする精神の働きの現れについての筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が主張する、文学作品を読むときと科学の論文を読むときの類似点について読み取っていない。 ・「文学作品が与えてくれる『発見』」と筆者が考えているものを読み取っていない。

	⑥内容の解釈 読（１）オ	・「科学」と「文学」の相違点について、他の文学的文章を読んで比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深め、説明している。	・「科学」と「文学」の相違点について、他の文学的文章を読んで比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めている。	・「科学」と「文学」の相違点について、他の文学的文章を読んで比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めていない。
	⑦情報検討と 考えの形成 読（１）カキ	・筆者の主張と、自分が読んだ文学的文章を関連づけて、「文学」に対する自分の考えを深め、説明している	・筆者の主張と、自分が読んだ文学的文章を関連づけて、「文学」に対する自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、自分が読んだ文学的文章を関連づけて、「文学」に対する自分の考えを深めていない。
	⑧情報の収集 書（１）ア	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめるために、文学的文章を読んで、必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめるために、文学的文章を読んで、必要な情報を的確に収集・整理し、題材を選んでいる。	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめるために、文学的文章を読んで、必要な情報を的確に収集・整理し、題材を選んでいる。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑨学習への態度	・「科学」と「文学」を対比して論を進める筆者の主張を理解し、物事の捉え方についての考えを深め、説明しようとしている。	・「科学」と「文学」を対比して論を進める筆者の主張を理解し、物事の捉え方についての考えを深めようとしている。	・「科学」と「文学」を対比して論を進める筆者の主張を理解し、物事の捉え方についての考えを深めようとしていない。

■『リスク』と『リスク社会』ルブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や逆接、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・文章の対比構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や逆接、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 ・文章の対比構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や逆接、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 ・文章の対比構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「近代」「主体」「パラドックス」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「近代」「主体」「パラドックス」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「近代」「主体」「パラドックス」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④展開の把握 読(1) ア	・内容に即した意味段落に分けて、適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示し、説明している。	・内容に即した意味段落に分けて、適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示している。	・内容に即した意味段落に分けず、適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リスク」の増大の関連を読み取り、ベックの主張を百字程度で要約し、説明している。	・近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リスク」の増大の関連を読み取り、ベックの主張を百字程度で要約している。	・近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リスク」の増大の関連を読み取っておらず、ベックの主張を百字程度で要約していない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・二つの例（英語の「danger」と「risk」の対比・医師と患者の対比）を捉えて、「リスク」の概念について理解し、説明している。 ・対象への関与可能性の有無による「リスク」と「危険」の違いを読み取り、ルーマンの主張を百字程度で要約し、説明している。 ・「制御可能性」の高まりと「リスク」の関連性を読み取り、「近代という時代の根本的な性質」との関わりを捉え、説明している。	・二つの例（英語の「danger」と「risk」の対比・医師と患者の対比）を捉えて、「リスク」の概念について理解している。 ・対象への関与可能性の有無による「リスク」と「危険」の違いを読み取り、ルーマンの主張を百字程度で要約している。 ・「制御可能性」の高まりと「リスク」の関連性を読み取り、「近代という時代の根本的な性質」との関わりを捉えている。	・二つの例（英語の「danger」と「risk」の対比・医師と患者の対比）を捉えておらず、「リスク」の概念について理解していない。 ・対象への関与可能性の有無による「リスク」と「危険」の違いを読み取っておらず、ルーマンの主張を百字程度で要約していない。 ・「制御可能性」の高まりと「リスク」の関連性を読み取っておらず、「近代という時代の根本的な性質」との関わりを捉えていない。
	⑥情報検討と 考えの形成 読（１）カキ	・筆者の主張と、「リスク」について考察したほかの文章や資料を関連づけて、近代社会における「リスク」について、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、「リスク」について考察したほかの文章や資料を関連づけて、近代社会における「リスク」について、自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、「リスク」について考察したほかの文章や資料を関連づけておらず、近代社会における「リスク」について、自分の考えを深めていない。
	⑦情報の収集 書（１）ア	・「制御可能性」の高まりに伴うリスクについて、筆者の主張を手がかりにしながら、日常の経験や社会の動向から適切な具体例を幅広く集め、課題の解決に必要な情報を多面的に収集している。	・「制御可能性」の高まりに伴うリスクについて、筆者の主張を手がかりにしながら、日常の経験や社会の動向から具体例を集め、課題の解決に必要な情報を収集している。	・「制御可能性」の高まりに伴うリスクについて、日常の経験や社会の動向から具体例を集めることをせず、課題の解決に必要な情報を収集していない。
	⑧根拠の検討 書（１）エ	・他者との意見交換を踏まえて、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・他者との意見交換を踏まえて、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	・他者との意見交換を踏まえて、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直ししておらず、その適否について検討していない。
	⑨表現の検討 書（１）オ	・筆者の問いに対する自分の考えを、根拠を明確にして示している。	・筆者の問いに対する自分の考えを示している。	・筆者の問いに対する自分の考えを示していない。
	⑩学習への態度	・筆者が取り上げている各記述から中心的主張を捉え「リスク」の概念を理解して、現代における「リスク」について、自分の考えを深め、根拠をもって説明しようとしている。	・筆者が取り上げている各記述から中心的主張を捉え「リスク」の概念を理解して、現代における「リスク」について、自分の考えを深めようとしている。	・筆者が取り上げている各記述から中心的主張を捉え「リスク」の概念を理解せず、現代における「リスク」について、自分の考えを深めようとしていない。

■『環境』とは何か ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・問いを含む表現とその答え、具体例と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・問いを含む表現とその答え、具体例と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・問いを含む表現とその答え、具体例と筆者の主張の関係を読み取っておらず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「主体」「二元論」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「主体」「二元論」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「主体」「二元論」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④構成の把握 読(1) ア	・五つの段の小見出しと、それぞれで取り上げられていることを整理して、全体の構成を理解し、説明している。	・五つの段の小見出しと、それぞれで取り上げられていることを整理して、全体の構成を理解している。	・五つの段の小見出しと、それぞれで取り上げられていることを整理していないか、整理だけにとどまり、全体の構成を理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「思考実験」より分かったことを読み取り、「環境」を考える哲学的視点を理解し、説明している。 ・マダニとムササビの例で筆者が言いたかったことを読み取り、第二段を百字程度で要約し、説明している。 ・「人間にとっての環境」の構造を、第三段をもとに整理してまとめ、説明している。	・「思考実験」より分かったことを読み取り、「環境」を考える哲学的視点を理解している。 ・マダニとムササビの例で筆者が言いたかったことを読み取り、第二段を百字程度で要約している。 ・「人間にとっての環境」の構造を、第三段をもとに整理してまとめている。	・「思考実験」より分かったことを読み取っておらず、「環境」を考える哲学的視点を理解していない。 ・マダニとムササビの例で筆者が言いたかったことを読み取っておらず、第二段を百字程度で要約していない。 ・「人間にとっての環境」の構造を、第三段をもとに整理してまとめていない。

		・「社会環境」の変化について、「農耕の成立以前と以後」「産業革命以降」の時期ごとに読み取ってまとめ、説明している。 ・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取り、説明している。	・「社会環境」の変化について、「農耕の成立以前と以後」「産業革命以降」の時期ごとに読み取ってまとめている。 ・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取っている。	・「社会環境」の変化について、「農耕の成立以前と以後」「産業革命以降」の時期ごとに読み取っていない。 ・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取っていない。
	⑥情報検討と 考えの形成 読（１）カキ	・筆者の主張と、「環境」をテーマにしたほかの文章や資料を関連づけて、「環境」に対する自分の考えを深め、説明している。 ・持続可能な社会環境の実現に向けて、企業やNPOなどが行っている最先端の取り組みや事例を収集・分析し、分かったことや考えたことをまとめ、説明している。 ・筆者が考える『『社会環境』の『持続不可能性』』について、具体的な例を収集してまとめ、説明している。	・筆者の主張と、「環境」をテーマにしたほかの文章や資料を関連づけて、「環境」に対する自分の考えを深めている。 ・持続可能な社会環境の実現に向けて、企業やNPOなどが行っている最先端の取り組みや事例を収集し、分かったことや考えたことをまとめている。 ・筆者が考える『『社会環境』の『持続不可能性』』について、具体的な例を収集してまとめている。	・筆者の主張と、「環境」をテーマにしたほかの文章や資料を関連づけておらず、「環境」に対する自分の考えを深めていない。 ・持続可能な社会環境の実現に向けて、企業やNPOなどが行っている最先端の取り組みや事例を収集せず、分かったことや考えたことをまとめていない。 ・筆者が考える『『社会環境』の『持続不可能性』』について、具体的な例を収集していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑦学習への態度	・本文の理解を踏まえて、持続可能な社会環境を実現するための具体的な取り組みについて今までの学習を生かして自分の意見をまとめ、考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、持続可能な社会環境を実現するための具体的な取り組みについて今までの学習を生かして自分の意見をまとめようとしている。	・本文の理解を踏まえて、持続可能な社会環境を実現するための具体的な取り組みについて今までの学習を生かして自分の意見をまとめようとしていない。

■「【言葉のトレーニング】長寿化・少子化と人口減少」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文章の構成 (1)ウ	・文章の構成や表現、図表の用い方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、図表の用い方を理解している。	・文章の構成や表現、図表の用い方を理解していない。
	②論の形式 (1)エ	・収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解し、説明している。	・収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解している。	・収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解していない。
	③情報の整理 (2)イ	・選択した複数の図表を比較し、関連づけて分析を行い、推論できることを考えている。	・選択した複数の図表を比較し、関連づけて分析を行っている。	・選択した複数の図表を比較し、関連づけて分析を行っていない。
思考・判断・表現	④展開の把握 読(1)ア	・書き手の主張を支えるために、どのように図表を用いて論を進めているかを的確に捉え、説明している。	・書き手の主張を支えるために、どのように図表を用いて論を進めているかを的確に捉えている。	・書き手の主張を支えるために、どのように図表を用いて論を進めているかを的確に捉えていない。
	⑤資料との関係把握 読(1)イ	・論理的文章において、書き手の主張に対して、図表がどのような役割を果たしているかを把握し、説明している。	・論理的文章において、書き手の主張に対して、図表がどのような役割を果たしているかを把握している。	・論理的文章において、書き手の主張に対して、図表がどのような役割を果たしているかを把握していない。
	⑥論理の展開の把握 読(1)エ	・取り上げられた資料について、多面的・多角的な視点で比較・考察し、論理の展開を批判的に捉え、論点を明確にしている。	・取り上げられた資料について、多面的・多角的な視点で比較・考察し、論理の展開を批判的に捉えている。	・取り上げられた資料について、多面的・多角的な視点で比較・考察し、論理の展開を批判的に捉えていない。
	⑦考えの形成 読(1)カ	・「少子化のメリット・デメリット」について、複数の資料を相互に関連づけながら、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・「少子化のメリット・デメリット」について、複数の資料を相互に関連づけながら、自分の考えを深めている。	・「少子化のメリット・デメリット」について、複数の資料を相互に関連づけながら、自分の考えを深めていない。
	⑧情報検討と考察 読(1)キ	・「少子化のメリット・デメリット」について、関連する文章や資料を収集・整理して得た知識を通して、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・「少子化のメリット・デメリット」について、関連する文章や資料を収集・整理して得た知識を通して、自分の考えを深めている。	・「少子化のメリット・デメリット」について、関連する文章や資料を収集・整理して得た知識を通して、自分の考えを深めていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑨学習への態度	複数の文章や資料を比較・考察して少子高齢化に関する問いを作り、多様な観点から探究を進める方法を理解しようとしている。	複数の文章や資料を比較・考察して少子高齢化に関する問いを作り、探究を進める方法を理解しようとしている。	複数の文章や資料を比較・考察して少子高齢化に関する問いを作り、探究を進める方法を理解しようとしていない。
-----------------------	---------	--	---	--

■「【探究編】資料を整理し、テーマを吟味する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2) ア	・収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを対比的に検討し、理解している。	・収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。	・収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを理解していない。
	②情報の整理 (2) イ	・情報の信頼性や、具体性・抽象度に加え、重要度にも注意しながら、資料の特徴を可視化して整理している。	・情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料の特徴を整理している。	・情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料の特徴を整理していない。
思考・判断・表現	③情報の収集 書(1) ア	・テーマに沿って、立場や主張に偏りがなく、多様な資料を収集している。	・テーマに沿って、多様な資料を収集している。	・テーマに沿って、多様な資料を収集していない。
	④テーマの検討 書(1) イ	・各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して吟味し、テーマが適切かどうか検討して説明している。	・各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して吟味し、テーマが適切かどうか検討している。	・各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して吟味せず、テーマが適切かどうか検討していない。
	⑤根拠の検討 書(1) エ	・整理した資料から、自分の立場や意見、問題意識を見直し、観点に沿ってテーマを検討し、自分の考えをまとめている。	・整理した資料から、自分の立場や意見、問題意識を見直し、観点に沿ってテーマを検討している。	・整理した資料から、自分の立場や意見、問題意識を見直さず、観点に沿ってテーマを検討していない。
学習の主体的に取り組む態度	⑥学習への態度	・資料の収集・整理を通して、テーマを多面的・多角的に捉え直し、自分の考えを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。	・資料の収集・整理を通して、自分の考えを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。	・資料の収集・整理を通して、自分の考えを見直そうとせず、適切なテーマを設定しようとしていない。

■「『である』ことと『する』こと」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・筆者の価値判断を示す語句や言い換え、要約表現や譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・二項対立の論理構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・筆者の価値判断を示す語句や言い換え、要約表現や譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 ・二項対立の論理構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・筆者の価値判断を示す語句や言い換え、要約表現や譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 ・二項対立の論理構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取ることをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「近代」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・「である」の論理・価値と「する」の論理・価値を、具体例をもとに読み取り、説明している。	・「である」の論理・価値と「する」の論理・価値を、具体例をもとに読み取っている。	・「である」の論理・価値と「する」の論理・価値を、具体例をもとに読み取っていない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・分かりづらい部分を質問のかたちにしながら内容を整理して全体の構成を理解し、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。 ・小見出しのついた段落ごとに筆者の主張をまとめ、説明している。	・分かりづらい部分を質問のかたちにしながら内容を整理して全体の構成を理解し、キーワードを使って関係性を図示している。 ・小見出しのついた段落ごとに筆者の主張をまとめている。	・分かりづらい部分を質問のかたちにならず、内容を整理して全体の構成を理解していない。 ・小見出しのついた段落ごとに筆者の主張をまとめている。
	⑥内容把握 読(1) ア	・「時効」「日本国憲法の第十二条」「近代社会の自由とか権利」の例を通して、権利者「である」ことと権利を行使「する」ことの論理を理解し、説明している。	・「時効」「日本国憲法の第十二条」「近代社会の自由とか権利」の例を通して、権利者「である」ことと権利を行使「する」ことの論理を理解している。	・「時効」「日本国憲法の第十二条」「近代社会の自由とか権利」の例を通して、権利者「である」ことと権利を行使「する」ことの論理を理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「である」論理から「する」論理への重点の移動という「近代精神のダイナミックス」を理解し、説明している。 ・徳川時代の例を通して、「である」社会の価値基準や儒教的な道徳を理解し、説明している。 ・「である」社会から「する」社会へ移行する社会的要因や、「する」価値の浸透落差による近代日本の状況を読み取り、説明している。 ・文化的創造における「である」価値の重要性を読み取り、説明している。 ・「である」価値と「する」価値の倒錯の内容を読み取り、「倒錯を再転倒する道」についての筆者の考えを理解し、説明している。 ・「である」社会と「する」社会について、それぞれの例を挙げて、話し合いで得られた他者の意見などを関連づけながら理解し、説明している。 ・筆者の考えを踏まえて、「日本の急激な『近代化』」について、他の文章と比較・検討したうえで理解し、説明している。	・「である」論理から「する」論理への重点の移動という「近代精神のダイナミックス」を理解している。 ・徳川時代の例を通して、「である」社会の価値基準や儒教的な道徳を理解している。 ・「である」社会から「する」社会へ移行する社会的要因や、「する」価値の浸透落差による近代日本の状況を読み取っている。 ・文化的創造における「である」価値の重要性を読み取っている。 ・「である」価値と「する」価値の倒錯の内容を読み取り、「倒錯を再転倒する道」についての筆者の考えを理解している。 ・「である」社会と「する」社会について、それぞれの例を挙げて、話し合いで得られた他者の意見などを関連づけながら理解している。 ・筆者の考えを踏まえて、「日本の急激な『近代化』」について、他の文章と比較・検討したうえで理解している。	・「である」論理から「する」論理への重点の移動という「近代精神のダイナミックス」を理解していない。 ・徳川時代の例を通して、「である」社会の価値基準や儒教的な道徳を理解していない。 ・「である」社会から「する」社会へ移行する社会的要因や、「する」価値の浸透落差による近代日本の状況を読み取っていない。 ・文化的創造における「である」価値の重要性を読み取っていない。 ・「である」価値と「する」価値の倒錯の内容を読み取っておらず、「倒錯を再転倒する道」についての筆者の考えを理解していない。 ・「である」社会と「する」社会について、それぞれの例を挙げていないか、挙げていても話し合いで得られた他者の意見などを関連づけながら理解していない。 ・筆者の考えを踏まえて、「日本の急激な『近代化』」について、他の文章と比較・検討したうえで理解していない。
	⑦表現の特徴の理解 読(1)エ	・傍点やかぎ括弧、「——」(ダッシュ)の付された意味を考え、説明している。 ・福沢諭吉の文章を引用した筆者の意図を理解し、説明している。	・傍点やかぎ括弧、「——」(ダッシュ)の付された意味を考えている。 ・福沢諭吉の文章を引用した筆者の意図を理解している。	・傍点やかぎ括弧、「——」(ダッシュ)の付された意味を考えていない。 ・福沢諭吉の文章を引用した筆者の意図を理解していない。
	⑧学習への態度	・筆者の論理展開や具体例を整理して主張を捉え、「である」価値と「する」価値という観点から、現代社会に対する認識を深め、説明しようとしている。	・筆者の論理展開や具体例を整理して主張を捉え、「である」価値と「する」価値という観点から、現代社会に対する認識を深めようとしている。	・筆者の論理展開や具体例を整理して主張を捉え、「である」価値と「する」価値という観点から、現代社会に対する認識を深めようとしていない。

■「科学の居場所を増やすには」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・自然科学を擁護するときに使われる「型」について読み取り、説明している。 ・「役に立つ」という言葉は「検証」のための言葉ではないと、筆者が考える理由を読み取り、説明している。 ・民主的な社会における「高尚な学問(学術)」の扱いについての筆者の考えを読み取り、説明している。 ・筆者が、科学の居場所を増やすための方法についてどう考えているか、読み取り、説明している。	・自然科学を擁護するときに使われる「型」について読み取っている。 ・「役に立つ」という言葉は「検証」のための言葉ではないと、筆者が考える理由を読み取っている。 ・民主的な社会における「高尚な学問(学術)」の扱いについての筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が、科学の居場所を増やすための方法についてどう考えているか、読み取っている。	・自然科学を擁護するときに使われる「型」について読み取っていない。 ・「役に立つ」という言葉は「検証」のための言葉ではないと、筆者が考える理由を読み取っていない。 ・民主的な社会における「高尚な学問(学術)」の扱いについての筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が、科学の居場所を増やすための方法についてどう考えているか、読み取っていない。
	④筆者の意図の解釈 読(1) エ	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図について推測し、その表現の効果について、理解し説明している。	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図について推測し、その表現の効果について、理解している。	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図について推測せず、その表現の効果について、理解していない。
	⑤情報検討と考察 読(1) キ	・筆者の主張と、同テーマの他の資料を相互に関連づけながら、「科学の居場所」について考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、同テーマの他の資料を相互に関連づけながら、「科学の居場所」について考えを深めている。	・筆者の主張と、同テーマの他の資料を相互に関連づけず、「科学の居場所」について考えを深めていない。

	⑥情報の収集 書（１）ア	・「科学の居場所」について、自分の考えを文章にまとめるために、関連する資料から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「科学の居場所」について、自分の考えを文章にまとめるために、関連する資料から必要な情報を的確に収集・整理し、題材を選んでいる。	・「科学の居場所」について、自分の考えを文章にまとめるために、関連する資料から必要な情報を的確に収集・整理しておらず、題材を選んでいない。
	⑦情報の吟味 書（１）イ	・集めた資料の信用性を見極め、自分が論ずるテーマに沿う内容であるか吟味し、的確に整理している。	・集めた資料の信用性を見極め、自分が論ずるテーマに沿う内容であるか吟味している。	・集めた資料の信用性を見極めず、自分が論ずるテーマに沿う内容であるか吟味していない。
	⑧表現の検討 書（１）オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑨学習への態度	・社会における「すぐには役に立たない科学」の扱われ方の歴史を理解し、筆者の主張を踏まえて、社会の中での科学の在り方についての見方を深め、説明しようとしている。	・社会における「すぐには役に立たない科学」の扱われ方の歴史を理解し、筆者の主張を踏まえて、社会の中での科学の在り方についての見方を深めようとしている。	・社会における「すぐには役に立たない科学」の扱われ方の歴史を理解し、筆者の主張を踏まえて、社会の中での科学の在り方についての見方を深めようとしていない。

■「日本人の美意識」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や否定・対比表現、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・二項対立の論理展開、具体例や引用と抽象の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や否定・対比表現、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 ・二項対立の論理展開、具体例や引用と抽象の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や否定・対比表現、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 ・二項対立の論理展開、具体例や引用と抽象の関係を読み取っておらず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「差異」「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「差異」「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「差異」「近代」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④構成の把握 読 (1) イ	・意味段落ごとに要旨をまとめ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・文章の中心的な「問い」を踏まえて、本文の内容を百字程度で的確に要約し、説明している。	・意味段落ごとに要旨をまとめ、適切な小見出しをつけている。 ・文章の中心的な「問い」を踏まえて、本文の内容を百字程度で要約している。	・意味段落ごとに要旨をまとめておらず、適切な小見出しをつけていない。 ・文章の中心的な「問い」を踏まえておらず、本文の内容を百字程度で要約していない。
	⑤内容と構成 読 (1) イ	・「うつくし」「きよし」という言葉の意味の変遷を読み取り、説明している。 ・「うつくし」から考えられる日本人の美意識を、本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解して、説明している。	・「うつくし」「きよし」という言葉の意味の変遷を読み取っている。 ・「うつくし」から考えられる日本人の美意識を、本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解している。	・「うつくし」「きよし」という言葉の意味の変遷を読み取っていない。 ・「うつくし」から考えられる日本人の美意識を、本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「きよし」から考えられる日本人の美意識を、本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解して、説明している。 ・日本人の美意識が倫理観と結びつき、生活行動全般にまで及んでいるという筆者の考えを読み取り、説明している。	・「きよし」から考えられる日本人の美意識を、本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解している。 ・日本人の美意識が倫理観と結びつき、生活行動全般にまで及んでいるという筆者の考えを読み取っている。	・「きよし」から考えられる日本人の美意識を、本文中の資料と関連づけながら西欧と対比的に理解していない。 ・日本人の美意識が倫理観と結びつき、生活行動全般にまで及んでいるという筆者の考えを読み取っていない。
	⑥内容の解釈 読(1)オ	・教科書巻頭の三つの絵と本文を相互に関連づけながら、日本と西欧の絵画の違いを、表現上の特色や構図、画家の視点から読み取り、説明している。 ・本文中に図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかみ、説明している。	・教科書巻頭の三つの絵と本文を相互に関連づけながら、日本と西欧の絵画の違いを、表現上の特色や構図、画家の視点から読み取っている。 ・本文中に図を示した筆者の意図を読み取っている。	・教科書巻頭の三つの絵と本文を相互に関連付けておらず、日本と西欧の絵画の違いを、表現上の特色や構図、画家の視点から読み取っていない。 ・本文中に図を示した筆者の意図を読み取っていない。
	⑦情報の収集 書(1)ア	・筆者の主張を踏まえて、日本人の美意識や倫理観、生活行動に関する身近な具体例を挙げて整理し、自分の意見に沿う適切な題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえて、日本人の美意識や倫理観、生活行動に関する身近な具体例を挙げ、自分の意見の題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえて、日本人の美意識や倫理観、生活行動に関する身近な具体例を挙げ、自分の意見の題材を選んでいる。
	⑧論点の検討 書(1)イ	・筆者の見解を的確に捉えたうえで、自分の立場と論点を明確にし、主張を支える適切な根拠を挙げている。	・筆者の見解を捉えたうえで、自分の立場と論点を明確にし、主張を支える根拠を挙げている。	・筆者の見解を捉えたうえで、自分の立場と論点を明確にしておらず、主張を支える根拠を挙げている。
	⑨表現の検討 書(1)オ	・筆者の見解についての自分の意見が読み手に的確に伝わるように、文章の構成を検討・吟味している。	・筆者の見解についての自分の意見が伝わるように、文章の構成を検討・吟味している。	・筆者の見解についての自分の意見が伝わるように、文章の構成を検討・吟味していない。
	⑩学習への態度	・日本と西欧の美意識の違いを理解し、日本人の美意識と、倫理観や生活行動の関連性について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・日本と西欧の美意識の違いを理解し、日本人の美意識と、倫理観や生活行動の関連性について、自分の考えを深めようとしている。	・日本と西欧の美意識の違いを理解せず、日本人の美意識と、倫理観や生活行動の関連性について、自分の考えを深めようとしていない。

■「地図の想像力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・筆者が独自に定義する表現や言い換え、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・「地図」に対する一般的な通念と筆者独自の見解の対比、具体例と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・筆者が独自に定義する表現や言い換え、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 ・「地図」に対する一般的な通念と筆者独自の見解の対比、具体例と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・筆者が独自に定義する表現や言い換え、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 ・「地図」に対する一般的な通念と筆者独自の見解の対比、具体例と主張の関係を読み取らない。
	③評論キーワード (1) イ	・「近代」「表象」「記号」「分節」「媒体」「テキスト」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「近代」「表象」「記号」「分節」「媒体」「テキスト」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「近代」「表象」「記号」「分節」「媒体」「テキスト」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④構成の把握 読(1) イ	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・論の展開に沿って意味段落ごとに筆者の主張をまとめ、説明している。	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 ・論の展開に沿って意味段落ごとに筆者の主張をまとめている。	・各意味段落の内容を踏まえておらず、適切な小見出しをつけていない。 ・論の展開に沿って意味段落ごとに筆者の主張をまとめている。
	⑤内容と構成 読(1) イ	・「T-O図」と本文を相互に関連づけながら、地図がイメージの表現であるという筆者の考えを理解し、説明している。 ・筆者の定義する「意味」の内容を捉え、「地図」は人間による世界の「意味付け」を示すとする筆者の考察を読み取り、説明している。	・「T-O図」と本文を相互に関連づけながら、地図がイメージの表現であるという筆者の考えを理解している。 ・筆者の定義する「意味」の内容を捉え、「地図」は人間による世界の「意味付け」を示すとする筆者の考察を読み取っている。	・「T-O図」と本文を相互に関連づけず、地図がイメージの表現であるという筆者の考えを理解していない。 ・筆者の定義する「意味」の内容を捉えず、「地図」は人間による世界の「意味付け」を示すとする筆者の考察を読み取っていない。

		る。 ・「言語」と「地図」の共通性を捉え、「描き手」と「読み手」により「地図」が生みだすものについての筆者の考えを読み取り、説明している。	・「言語」と「地図」の共通性を捉え、「描き手」と「読み手」により「地図」が生みだすものについての筆者の考えを読み取っている。	・「言語」と「地図」の共通性を捉えず、「描き手」と「読み手」により「地図」が生みだすものについての筆者の考えを読み取っていない。
	⑥内容の解釈 読（１）才	・筆者の地図観について、関連する他の資料（「図像を読み解くために」）の観点をもとに再検討し、社会や時代と人間の関連性を、社会学的視点から論じていることを理解し、説明している。 ・本文中に図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかみ、説明している。 ・異なる世界像や世界に対する理解による、異なる表現の具体例を挙げ、筆者の考察への理解を深め、説明している。	・筆者の地図観について、関連する他の資料（「図像を読み解くために」）の観点をもとに再検討し、社会や時代と人間の関連性を、社会学的視点から論じていることを理解している。 ・本文中に図を示した筆者の意図を読み取っている。 ・異なる世界像や世界に対する理解による、異なる表現の具体例を挙げ、筆者の考察への理解を深めている。	・筆者の地図観について、関連する他の資料（「図像を読み解くために」）の観点をもとに再検討せず、社会や時代と人間の関連性を、社会学的視点から論じていることを理解していない。 ・本文中に図を示した筆者の意図を読み取っていない。 ・異なる世界像や世界に対する理解による、異なる表現の具体例を挙げず、筆者の考察への理解を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	・本文の理解を踏まえて、身近な地図から、描き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえて、身近な地図から、描き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、身近な地図から、描き手の目的や意図とその工夫を読み解かず、自分の考えを深めようとしていない。

